

## 磐梯山の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2 - ）

剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 2 日に一時的に噴気孔から 100m となりましたが、それ以外は 50m 以下と噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2 - ~ ）

火山性地震は少ない状況で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

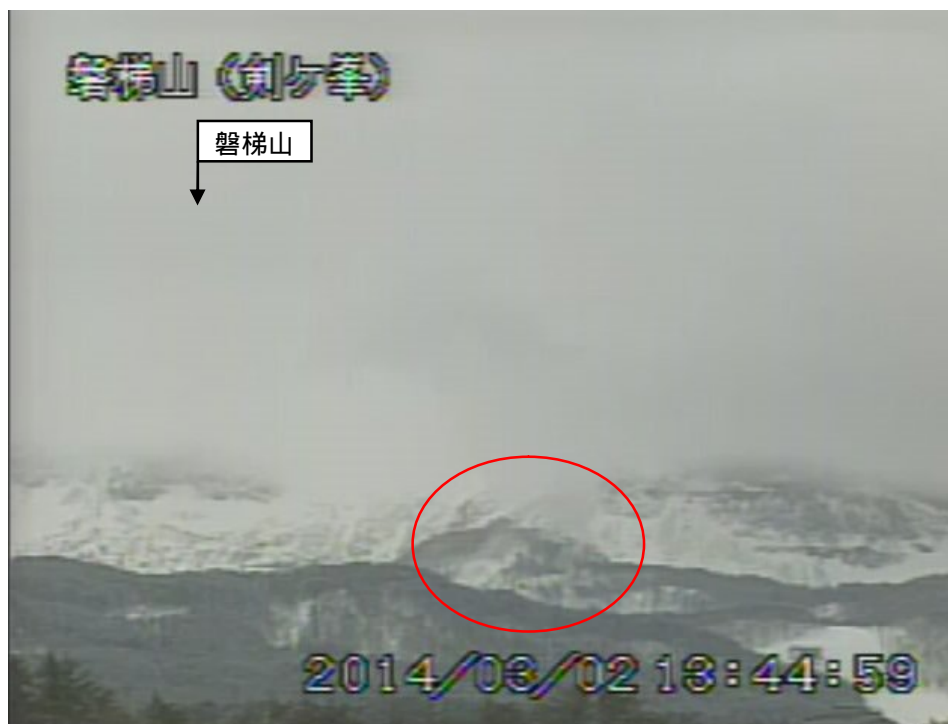


図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（3月2日）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 100m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 4 月分）は平成 26 年 5 月 12 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

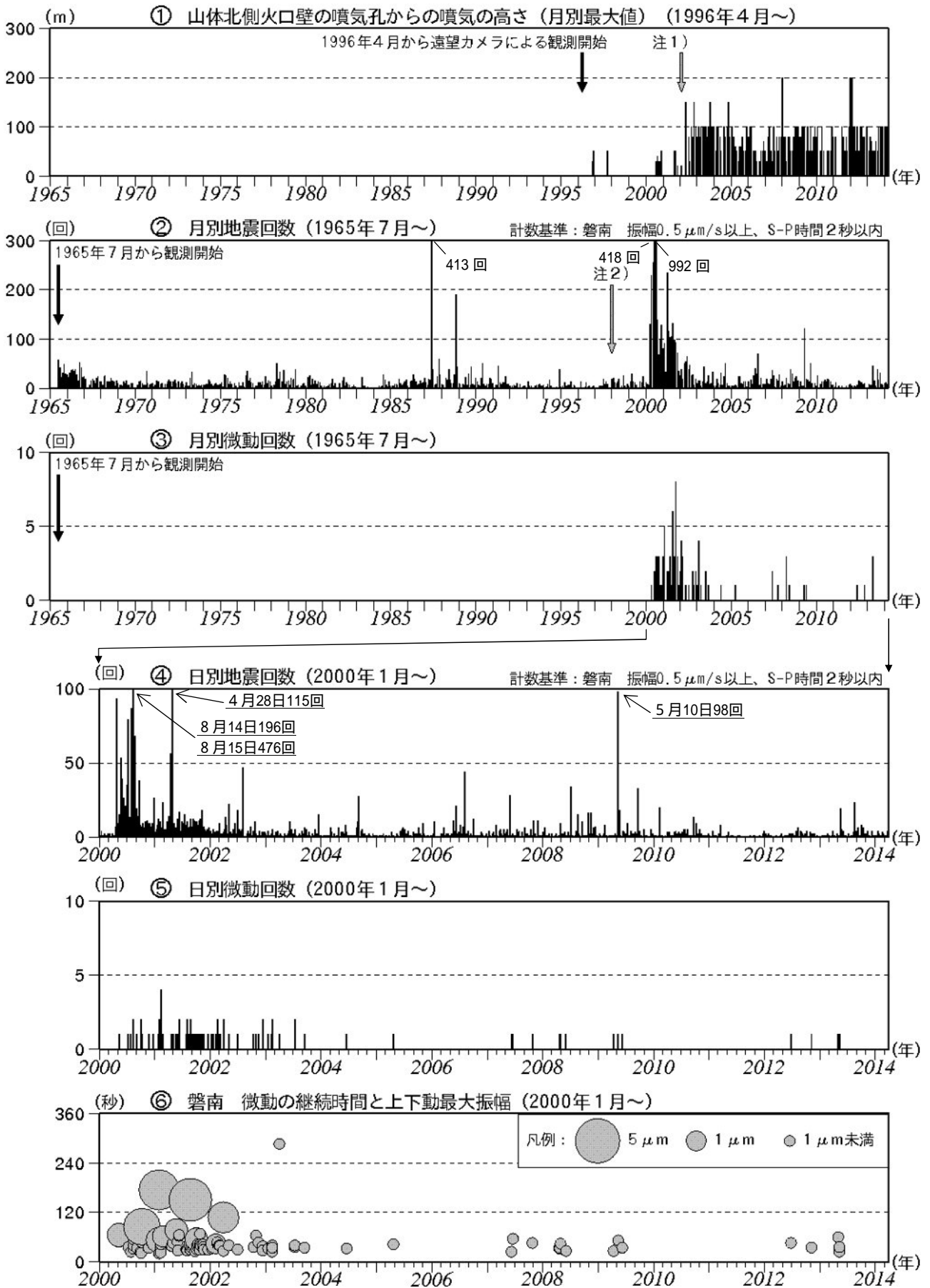


図2 磐梯山 火山活動経過図(1965年7月～2014年3月)

- ・ 注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・ 注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

「平成23年(2011年)  
東北地方太平洋沖地震」

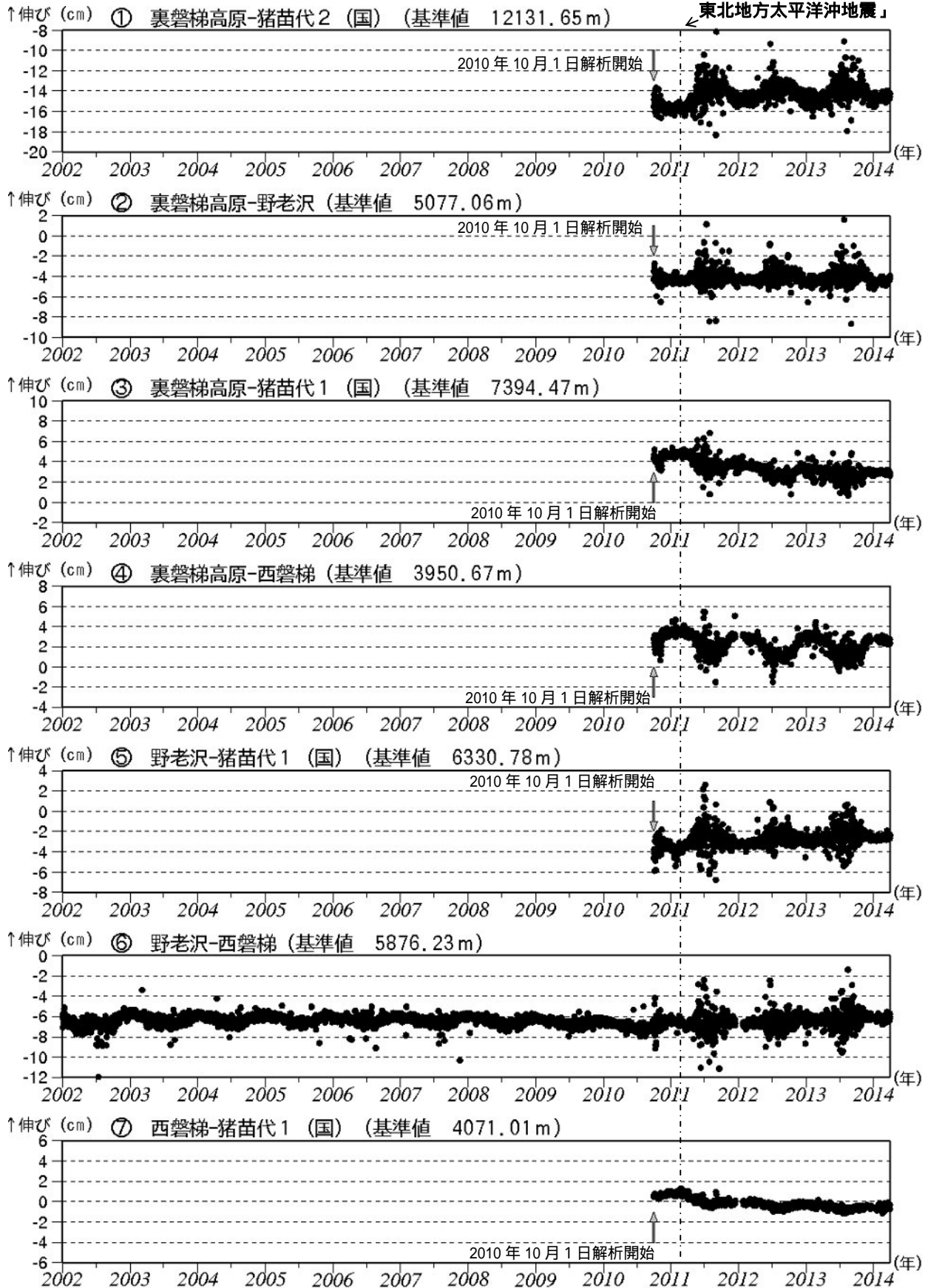


図3 磐梯山 GNSS<sup>1)</sup>基線長変化図(2002年1月~2014年3月)

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
  - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・ ~ は図5のGNSS基線 ~ に対応しています。
  - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合がありますが、最新の値のみ表示しています。
- (国) : 国土地理院

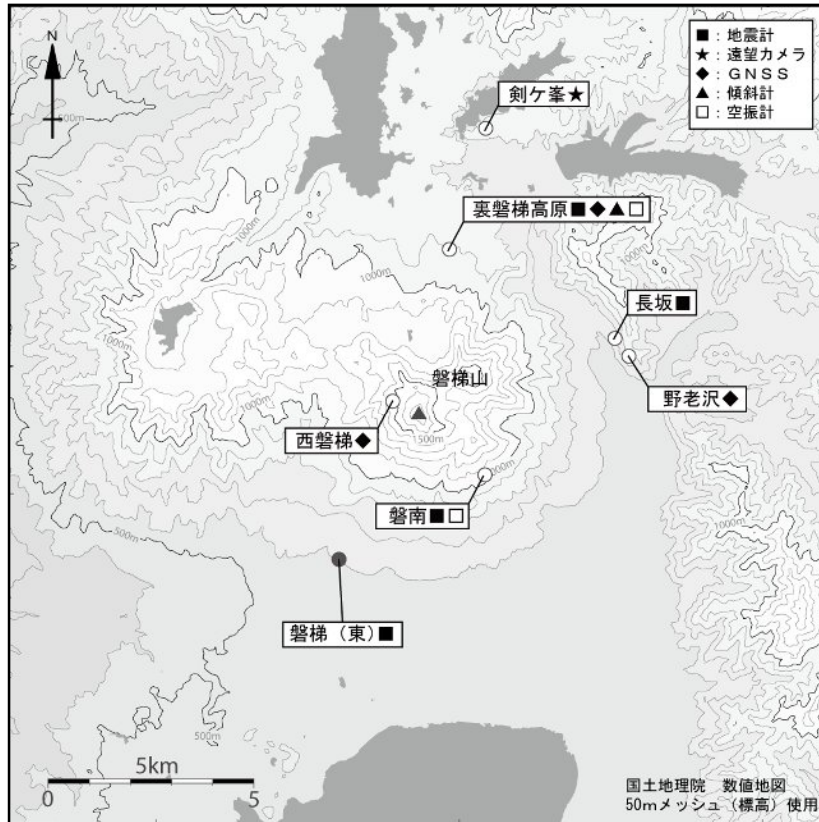


図 4 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 ( ) は気象庁、小さな黒丸 ( ) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (東)：東北大学

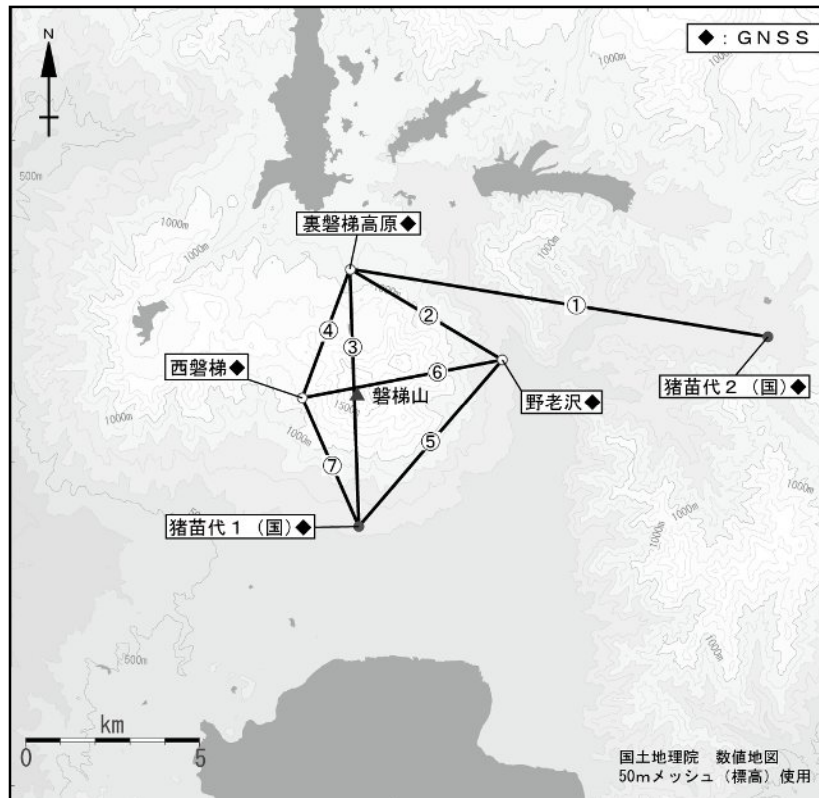


図 5 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 ( ) は気象庁、小さな黒丸 ( ) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院